

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
大和川二期地区

平成27年4月

新潟県糸魚川市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4- 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	通学路及び公共施設への歩きやすい道路整備率	%	63.0	100.0	100.0	確定 見込み	あり - なし -	100	H26年4月	-	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	(市)大和川海浜線の整備が完了し、大和川地区において歩行者が安全に通行できる環境が整った。
指標2	災害時要援護者の収容人数	人	0	60	60	確定 見込み	あり - なし -	-	-	-	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	災害時に要援護者を収容可能なスペースが確保され、地域の防災力が高まった。
指標3						確定 見込み	あり なし		H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み	あり なし		H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み	あり なし		H 年月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4- その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	救急搬送による医療機関等への収容平均時間増減率	%	+18.8	/	+6.0	確定 見込み	/	+0.3	H27年4月	/	予想以上に病院収容時間の延伸抑制効果が発揮された。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	糸魚川総合病院周辺のアクセス道路環境が改善され、市民の安全、安心の確保に大きく貢献した。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/		H 年月	/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/		H 年月	/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全、安心な居住環境づくり	・幅広い年齢層が安心して暮らすために、通学路である老朽化した生活道路の側溝などの整備。 ・通学する児童と一緒に、各関係機関と通学路の安全点検。	・市道の側溝改修や道路改良など。 ・通学路の危険箇所等の把握。	・歩行者等にやさしい道路の整備。 ・今後も通学路の安全点検を実施し、危険箇所の対応をする。
	地域の防災力向上	自主防災組織や消防団等・地区住民が連携した防災訓練の実施。	地域住民の防災の意識の高揚が図られた。	防災訓練等を行い引き続き、防災に対しての意識を向上を努めていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地区を取り巻く環境変化への対応	一般国道8号東バイパスの整備工事(平成27年度5月末供用開始) 北陸新幹線沿線道路の整備工事(平成26年度末供用開始)	地区内で進められている各種関連事業の整備に伴い、都市基盤の充実が図られる。	一般国道8号東バイパスの全線開通。北陸新幹線沿線道路の供用開始。平行在来線の利用促進(梶屋敷駅前トイレ・駐輪場整備等)について、今後も検討。
	東日本大震災の教訓を踏まえた災害時への備え	(県)西中系魚川線整備工事(平成27年度供用開始) 一般国道8号東バイパスの整備工事(平成27年度供用開始)	(県)西中系魚川線、一般国道8号東バイパスの平成27年度供用開始により、東西軸方向の利便性向上。	今後、海岸部から内陸部に向かう避難経路を検討し整備を行っていく。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項